

## H29 (2017) 年 11 月 太宰府市市議選候補予定者 公開アンケート

該当する項目に○を付けて、空欄に必要な言葉を記入してください。

① 中学校給食について以下のどの方法がよいと思いますか？ それはなぜですか？

(A~Dは学校給食法に基づいた完全給食 Eは希望者のみ)

- A センター方式 B 親子方式  C 自校方式 D デリバリー方式 E ランチサービスの充実  
F 給食は不要 G その他 ( )

理由： A センター方式は初期費用が巨額になる。また毎日配送コストがかかる上、異物混入が心配。  
B 親子方式は親校側の負担・設備が大きくなりすぎ現実的でない。  
D デリバリー方式は初期費用が少なくすむが、全国で異物混入や大量の食べ残しが報じられている。  
ただ自校方式は校舎の建替えや大規模改修に合わせるなら、各校間で実施時期が大きく前後することになる。

② 芦川市長自身の給与削減案（2015 春、議会の反対多数で否決）について、どう考えますか？

- A 選挙公約どおりの削減案であれば賛成 B 市長の給与削減案に反対  
C その他 ( )

理由：平成27年6月議会では削減案に賛成した。しかし二年後に出された削減案は、既に公約額を超えて受け取っている約680万円が考慮されていないので反対した。本年9月議会での削減案も同じで、既得分を相殺するなら削減すべきは10%ではなく48%である。芦川市長の考えでいけば、任期の最後に10%の減額をすれば公約を果たしたことになる、理解できない。

③ 今回9月の市長による副市長の解任について？

- A 賛成  B 反対 C その他 ( )

理由：なり手がなく3ヶ月間空席の中、市長自身が就任を懇願している。市長提案説明では「入庁以来、重要部署で活躍され人格・識見に優れ行政職員としての経験も豊富」と強調し議会は同意した。それを「風通しが悪い」、「改革が進まない」などと責任を押し付け解職したことは不条理としか言えない。直接の理由とする「問責決議への提案がなかったから」は全く理解できない。問責を受けたのは市長であり、市長自信が考え対応すべき。

④ 総合体育館問題について

- A 総合体育館はそもそも不要であり今後、閉鎖や売却を検討すべき  
 B 総合体育館の使い道を考え経費削減をすすめるべき C 問題はない  
D その他 ( )

理由：総合体育館については、財政状況や資材・人件費の高騰などを踏まえ早期の建設には反対してきた。しかし完成した以上積極的に活用を図るべき。開館から今年7月まで9ヶ月間の利用者は84,663名で1日当たり約310名となる。立地状況や本市の人口からすると健闘していると思うが、文化的利用を進めるなどさらに工夫検討すべき。経費削減は行政全体にいえることだが、市民サービスが低下しないことも重要。

⑤ 行財政改革・市役所改革について

- A 行財政改革は急務であり、行政各部署の予算・補助金など大幅に見直すべきである  
 B 行財政改革は、市民、市役所、多くの意見を聞いて慎重にすすめるべきである  
C その他 ( )

理由：Aとしたいところだが急進的な改革は頓挫しやすい。議員として市の財政を見てきて感じるのは余裕がないこと。依存財源の比率が近隣市と比べてかなり大きく、経常収支比率も再び増加傾向にある。実際本市が独自に行っている事業は「まほろば号」くらいでは、義務的な支出がほとんどの中、以下が必要と考えている。

- ① 公共施設整備は既存施設の統廃合から議論を進めていく
- ② 補助金は既得権に配慮した交付ではなく事業提案制に移行すべき
- ③ 新産業の育成誘致(ソフト産業等)
- ④ 広域行政の推進

以下の⑥、⑦の質問は「前職」と「新人」と別々にお答えください。

「前職」の方へ (⑥-1はその当時、在職の方のみをお願いします)

⑥-1 総合体育館建設（体育館建設が決定的になった2014年12月の議決：3700万円増額の予算修正）に対して

Ⓐ 反対した B 賛成した C その他（ ）

理由：同年3月議会で当初予算には基本設計2,000万円と実施設計3,700万円の計5,700万円が計上されていた。しかし市民への周知や議会での議論もないまま建設を確定する実施設計分は不要と判断し議会はこれを削った。6月議会では何の説明もなく同額が復活補正されたが議会は認めなかった。ところが12月議会で、今まで建設に反対ないしは慎重であった議員2名が賛成に廻り賛否が逆転、増額案は可決された。反対理由は上述の通り。

⑥-2 現在時点で ご意見があればご記入ください

議会で二度まで判断し決定したことが、こういった形で覆されるのは異常であり、悔しい。総合体育館の活用については④で述べた通り。

⑥-3 あなたが当初、議員になろうとした目的は何ですか？そして今、その自己評価はどう

ですか？ 以前から仕事やボランティアで公共に関わるが多かったのですが、その中で感じたのは「理由は分からなくていいから、従ってください」といった行政の態度です。以前勤めていたIT関連で例えると行政がシステムで、企業や市民がアプリやデータです。一市民としての活動には限界があると感じ、議員としてシステムそのものに関りたいと考えるようになりました。自己評価は62点。

「新人」の方に

⑦-1 ここ2年半の間に、市議会の以下の会議を直接傍聴したことがありますか？

A 常任委員会または特別委員会 B 本会議 C なし

傍聴した方は、その感想を：

⑦-2 市の情報公開条例を利用したことがありますか？

A 3回以上 B 1.2回はある C ない

あった方はその感想を：

⑦-3 芦川市長の評価についてお尋ねします

A 市長の改革の姿勢は、評価できる

B 現在の市政の混乱の責任は、市長にある

C その他

理由：

前職、新人ともに

⑧ 最後の質問です。議員、市民、市長、執行部それぞれのコミュニケーションが不足していると思われま。この件についてご自身の感想、反省、今後の提案があればお願いします

（自由記述）

市長は記者会見で「議員とのコミュニケーションが不足していた」と発言されています。個人的付き合いを指すのなら、そうかもしれません。ただ、議論であれば本会議、委員会、協議会等で市長や職員と多くの時間を費やしてきました。議会と市民のコミュニケーションは不十分だと感じています。議会は年1回市民との意見交換会を行い、また年4回の定例議会ごとに議会だよりを発行しています。しかし市民と直接話してみると市の実情や議会の活動があまり伝わっていないと思います。私自身は定例会ごとの議会レポート発行、ホームページの更新、議会報告会の開催を行っていますが、まだ改善・工夫が必要と考えています。

御記名をお願いします。（ 門田 直樹 ）

ご回答ありがとうございました。